



150周年

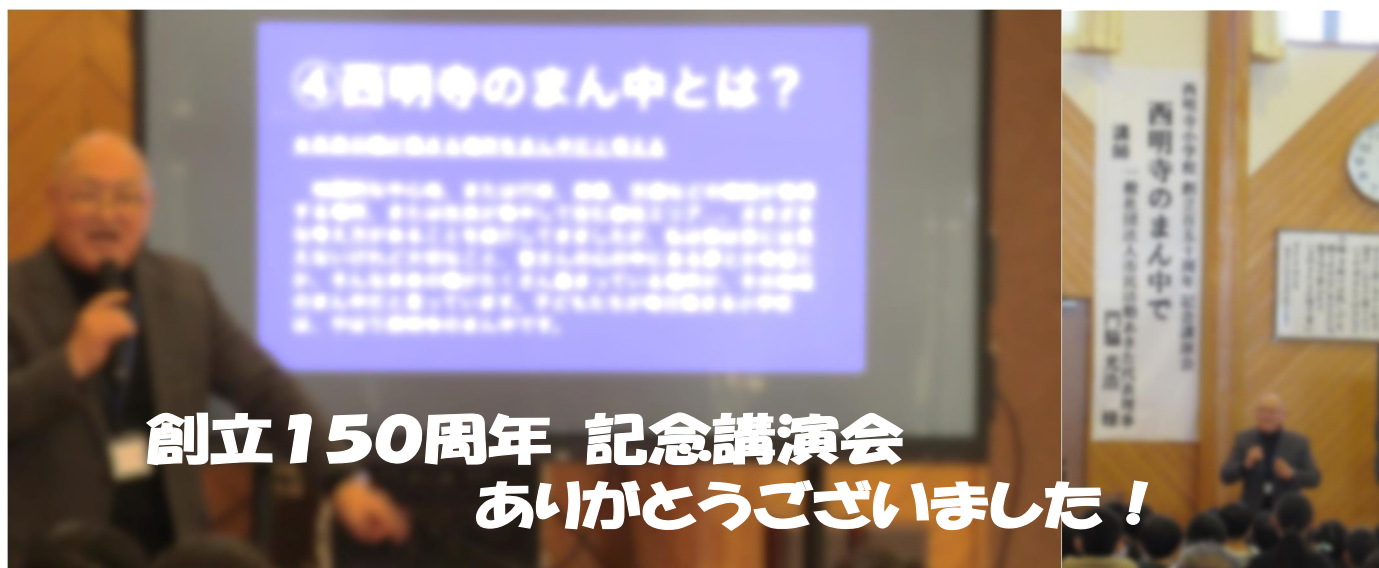
かたぐい

学校教育目標

夢ふくらませ

心かがやく

～ えがおさいこう ～

令和7年度
第49号
12月12日

創立150周年 記念講演会 ありがとうございました！

昨日は、いつもの授業参観に先立ち、PTA総務部主催による創立150周年記念講演会が行われました。講師の方さんは、子どもたちが親しみやすい「河童」「ポケモン」「鬼滅の炭治郎」などの話題を交えながら、心に響くたくさんのメッセージを届けてくださいました。『目には見えないけれど大切なこと』『夢や未来がある子どもたちが毎日集まる場所は、西明寺のまん中だと思う』『私たち大人は、子どもたちの未来を応援する役割を担っている』『大人は子どもの夢や希望の種を育てることが仕事』などの言葉に、胸が熱くなりました。あっという間の45分間でした。

講演前後の控え室では、事前準備として子どもたちと保護者の皆さん両方に向けた話の展開に苦勞されたこと、講演が始まったらその場の雰囲気に合わせて楽しんで話そうと思ったことを、いつもながらのユーモアと前向きな笑顔で打ち明けてくださいました。また、PTA総務部長さんが手渡ししたお礼を、「ありがとうございました。これはすべて子どもたちのために使ってください」とお返しくださったことも、保護者の皆さんにお伝えします。

後半の授業参観では、一緒になって物づくりをしたり考え合ったりする場面や、いつも以上に緊張しながら学習している姿など、PTAならではの光景があって微笑ましく感じました。子どもたちの成長、がんばりを感じていただけたと思います。学校適正配置に関する説明会や学年懇談など、盛りだくさんのPTAとなりました。たくさんのご参加、ありがとうございました。今後ともどうかよろしくお願いします。

5年 JAおばこ「あぐりスクール」事業 ～おいしいみそたんぽができました！

8日(月)、5年生はくりっこ探検隊とも絡めたJAおばこ「あぐりスクール」事業の締めくくりとして、お米料理教室を行いました。JA西木地区から6人、お家の方3人がお手伝いに来てくれて、みそたんぽづくりをしました。

自分たちが育てたお米を炊き、すりこぎ棒でやわらかくしてから一つ分の量を取り、割り箸に付けながらたんぽをつくっていきました。割り箸にくっつけていく時の水の加減や形の整え方に苦勞していました。ホットプレートで焼いた後に、特製のみそをつけました。家庭科室全体に、とてもいいにおいが漂いました。仕上げにバーナーでみそにも焦げ目を付けてもらいました。手作り、できたてのみそたんぽは絶品で、子どもたちは笑顔いっぱい味わっていました。

会の最後には、「あぐりスクール」にて、田植え・生き物調査・稲刈り・料理教室の課程を修了したという修了証もいただきました。今年度は、JAおばこさんに、あぐりスクール事業としてご協力いただけたことに感謝します。ありがとうございました。



6年 総合的な学習の時間 ～社長さんを迎えて学習しました！～

4日(木)、6年生は、11月14日の指導主事訪問で研究授業として行う予定だった(インフルエンザなどの影響で延期)学習をしました。私の未来予想図～将来の夢や仕事を見付けよう～という単元で、ゲストティーチャーをお招きしました。

昨年のくりっこ探検隊で、角館の「西の家」を訪れた時に火事に遭遇した6年生です。恐ろしい体験でしたが、子どもたちは「一番つらいのは本人に違いない。自分たちにできることはないか」と話し合い、メッセージを寄せた色紙と千羽鶴を贈りました。それを大切に持参し、「これは一生の宝物です。どれほど勇気づけられ、励まされたかわかりません。亡くなるときには棺に入れてもらうつもりです」と感謝の言葉を伝えてくださいました。

その後、本題に入りました。「社長という仕事は…」というテーマで、「世の中の困りごとをビジネスで解決する」という独自の社長観を語ってくださいました。さらに、子どもたちの「仕事で大変なことは?」「やりがいとは?」「大切にしていることは?」といった質問にも丁寧に答えってくださいました。家族や、今年教師1年目としてがんばっている先生からも、仕事に対する思いを学んでいます。これらの学習を通して、働くことの意味や、職業を選び、その実現に向けて努力することについて考えを深めることができました。

今後は、自分になりたい職業を選び、進路や資格について調べながら「未来予想図」を描いていきます。完成が楽しみです。



4年 認知症サポーター養成講座 ～「やさしい心」再確認しました！～

9日(火)、仙北市包括支援センターから4人の皆さんが訪れ、4年生を対象に認知症サポーター養成講座を実施しました。「認知症の人もその家族の人も支援していくこと」を目的としていて、子どもたちは、認知症の人の理解とどのように接すればいいかなどを学びました。

認知症の方の気持ちなどを教わった後に、寸劇も見せてくれて、子どもたちは熱心に見入っていました。相手のことを考えたやさしい言葉がけや、誰にでもやさしくすることは、認知症の方にだけでなく、普段の学校生活でも、社会に出てからも大切にしなければならいことです。今年、全校みんなで取り組んでいる「やさしい心」についても再確認できました。4人の皆さん、ありがとうございました。



◆◆◆◆◆ インフルエンザ大流行 感染症にどうかお気を付けください! ◆◆◆◆◆

11月11日から2日間、6年生が学年閉鎖となり、その後、校内では少し落ち着いていたかなあと考えていましたが、先週末から週明けに再び罹患者が増え、9日から2日間、2・3年生が学年閉鎖となりました。昨日は、まだ休んでいる子どもの多い中でのPTAとなってしまう、申し訳ありませんでした。県内にインフルエンザ患者は前の週の58%減(さきがけ記事)ということで、校内でも1・4・5年生が一気に罹患者が増える状況にはなっていませんが、油断はできません。学校でも、うがい・手洗い、場面に依るマスク着用を呼びかけいきますので、ご家庭でもどうかよろしくお願いします。